

## 2018年4月度役員会議事録

日時：2018年4月4日(水)18:00～19:30

場所：サンピアセリーズ

参加者：原田会長、横田副会長、南、横山、兵頭、岡林

## 【連絡】

- ・魚本先生より9月28日開催のコンクリートサミットと土木研究所 CAESAR 研修会の日程が重複しており、何方にしようか検討中との報告が寄せられました。当会としては設立10周年記念であり、岡村甫先生等著名な講師陣が登壇予定ですので、是非コンクリートサミットへの出席を強く要請するよう原田会長を通じて行うこととした。
- ・3月末にJCDの役員会があり、平成30・31年度の役員改正で原田会長が企画部長を務めることとなった。
- ・島根県コンクリート診断士会では、県および市町村管理の構造物の維持管理に対して何らかのお手伝いができないかを長年かけて協議し、平成27度に「コンクリート構造物の点検診断等の支援に関する協定」ができ、県と建設技術センター契約し、そこから橋梁調査会およびコンクリート診断士会へ一括契約でアドバイザーとして調査に協力する体制がスタートしている。高知県でもこのような体制ができるよう今後検討してゆくこととした。(詳細はJCDかわら版14号に掲載)

## 議題Ⅰ：「2018年度コンクリート診断士受験対策講座」について

本年度の開催は下記の通り決定した。講師陣は1日目が島先生および氏家先生、2日目が近藤先生および橋本先生である。会場は4月3日に予約しており、2日間の使用料は¥42,200である。

・CPDSについて、今までは2日続けての開催で両日すべてに参加した者に14ユニットを付与していた、本音は1日目と2日目が開いておりそれぞれ半分のユニットを付与できないか検討した。CPDSの発行は施工管理技士会に委ねており、当会だけの判断はできない。従来通りの2日間まとめて14ユニットがベターと思われるが、それぞれのパターンのプログラムおよび案内を作成し施工管理技士会に相談することとした。

・本年度はアンケートに多かった四択試験をプログラムに取り入れることにした。問題の選別は担当講師に行って頂く。尚テキストは当会が作成する。

・2日目の最後の時間は論文Bの模擬試験を実施する。昨年度好評であった論文の添削を橋本先生に要請する。

・受付はホームページ経由メールにて行う。担当は横山氏。なお本年度より申込書を実務処理に適したものへ変更する。(横山氏担当)

開催日：第1日目：2018年6月2日(土)

第2日目：2018年6月23日(土)

時間：9:00～16:30 受付は8:30

場所：ポリテクセンター高知

参加費：¥10000

プログラム

1日目	午前 2コマ	択一式問題対策	島先生
	午後 2コマ	論文B 化学的腐食 ASR	氏家先生
2日目	午前 2コマ	論文A 論文B 塩害	近藤先生
	午後 2コマ	論文B 中性化 模擬試験	橋本先生

※1コマ90分

## 議題Ⅱ：「2018年度通常総会について」

本年度の総会は次の通り行う。

開催日：2018年6月30日（土）15：00～

場 所：高知サンライズホテル

勉強会：①生産性向上をテーマにした講演/ 徳島大学大学院 橋本親典教授

②「ローモントタイトの乾湿繰り返しに作用による粉化現象と剥落対策事例」  
(株)第一コンサルタンツ 兵頭 学

懇親会：18：00～ 会費¥6,000（予定）

・会計監査報告は4月中に実施する。

## 議題Ⅲ：「設立10周年記念講演」について

2018年9月29日（金）に設立10周年記念研修会が高知工科大講堂で開催されます。講習会タイトルは、「高知県コンクリート診断士会設立10周年記念講習会 コンクリートサミット in 高知～コンクリート構造物の将来を考える～」です。

講師陣はほとんどの方から了解を得ることが出来ております。地方整備局へはプログラムが確定してから前年同様に原田会長と横田副会長とで、出向き正式要請を行うこととした（5月の連休明け程度）。会場の駐車場については4月下旬に鏡野公園を管理している土木事務所に正式な申込み申請を行う。

講師陣は、岡村甫（東大名誉教授）、魚本健人（東京大学名誉教授）、細田暁（横浜国立大学教授）、松田芳範氏（JR東日本(株)）、四国地整および高知県土木部の方々です。

## 議題Ⅳ：見学会について

2018年度の見学会は、8月の盆休み明けに愛媛県の土木遺産である芸予要塞、小島砲台跡（今治市）、大宮橋（西条市）、来島海峡大橋等を訪ねる予定である。工程は1泊2日とし、バスをチャーターして実施予定である。昨年度の山口県視察の際にお世話になった技士会への参加要請も計画しています。バスのチャーター代（25名程度のバス）は1日10万円程度でそれに高速道路代が別途必要である。昨年度の山口県視察のように補助金がないので、参加代金は¥20,000程度になると予想される。施工管理技士会や建設業協会等に案内を求めることも考慮することとした。

具体的な内容は今後検討いたします。

以上  
2018年4月6日  
文責：岡林